

「子育て応援宝くじ」キャンペーン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	総務部	課名	財政課	課長名	川上 進太	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	R6 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度	
事業実施方法	直営			経過年数								
補助率	—			2 年								
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]				関連する県の計画等		〔 行財政改革アクションプラン2024 〕					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
宝くじ収益の低迷						本県の収益金 H17:30.9億円(ピーク) → R5:20.1億円 全国の宝くじ人口 H19:55.1% → R4:47.5%						
[事業目的]												
低迷する宝くじの購入者および購入額を増加させることにより、本県の収益金を増加させ、子育て応援事業の財源確保に寄与する。												
[事業内容]												
(1)くじ購入者へのプレゼントキャンペーン (2)臨時販売所の設置 (3)広報の強化												
[受益者] 子育て世帯						[想定される受益者数] 約70,000世帯						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)	事業名				
市町との連携状況	—				他県の状況	鳥取県:鳥取和牛プレゼントキャンペーン 京都市:特産品プレゼントキャンペーン、臨時販売会						

「子育て応援宝くじ」キャンペーン事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	総務部	課名	財政課	課長名	川上 進太			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		R6 年度 事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金				事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年
補助率	-								□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	2,683				2,683									
[予算額の推移等] (単位:千円)														
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移				2,942	2,683	事業内容の見直しによる減								
2月現計予算額の推移				2,942										
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	収益金増加額(千円)	(目標)		(50,000)	(20,000)			R5収益金2.8億円×0.07 (鳥取県のキャンペーン実施時の増加率を参考に設定)						
		実績		15,178										
活動指標	プレゼントキャンペーン・臨時販売会の実施回数(回)	(目標)		(13)	(3)			プレゼントキャンペーン1回、臨時販売会×2回						
		実績		3										
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価						
プレゼントキャンペーンや臨時販売会を実施することで、15,178千円の収益金増につなげることができた。 <事業実績> プレゼントキャンペーン:1回(年末ジャンボと同時期) 臨時販売会:2回(福井県児童科学館、道の駅南えちぜん山海里) SNS広告(表示回数):facebook 261,276回 LINE 805,689回				令和6年度の実績を踏まえ、事業内容を見直しながら、更なる宝くじの購入者および購入額増加を図っていく。 (臨時販売所での配布物の見直し、広報の強化等)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	259		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

政策トライアル枠予算

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	総務部	課名	財政課	課長名	川上 進太	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率	—											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]				関連する県の計画等		[行財政改革アクションプラン2024]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
多様化する行政ニーズに対して、徹底現場主義の観点から、機動的かつ柔軟に取り組むことが求められる。						—						
[事業目的]												
新しい施策にいち早くチャレンジして取り組むことができるよう、各部局長の権限において試行できる枠予算を持つことにより、その成果を踏まえ、次年度以降の事業を立案する。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> ・次年度以降に本格実施するための調査や、小規模で試行的な事業を実施する。 ・事業評価に時間を要する場合は、翌々年度の事業の立案への反映も可能とする。 ・部局単位での上限額は設けない ・枠予算を活用して実施した事業をもとに次年度の新規事業等を要求した場合は、予算査定時にその実績・効果等を確認する。 												
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約75万人						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名				関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)	事業名				
市町との連携状況	—				他県の状況	—						

政策トライアル枠予算

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	総務部	課名	財政課	課長名	川上 進太			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R1 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営			□ 法定受託事務		□ 補助金								
補助率	—			□ その他		□ その他								
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	90,000						90,000							
[予算額の推移等]													(単位:千円)	
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			100,000	100,000	90,000	90,000	90,000	—						
2月現計予算額の推移			100,000	80,000	90,000	80,574								
決算額の推移			54,301	66,708	67,792									
前年度までの 主な増減理由		・令和3年度 前年度までの執行実績額を踏まえ減額 ・令和5年度 前年度までの執行実績額を踏まえ減額												
[成果指標等の推移]														
区 分			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	政策トライアル枠予算の 活用を反映した事業数	(目標) 実績	31(36)	27(30)	27(31)	24(26)				新しい施策にいち早くチャレンジして取り組めるよう、各部局長の権限において試行できる枠予算であり、成果目標の設定にそぐわない。 ※()内は、首都圏統括監分、嶺南プロジェクト枠を含む				
活動指標	政策トライアル枠予算を 活用した事業数	(目標) 実績	38(43)	40(45)	35(40)	34(37)								
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価						実績を踏まえた令和7年度の変更点			事業評価					
令和6年度は37事業のトライアルを実施し、前年度と同程度の執行状況であり、新しい課題にチャレンジする傾向が継続している。 また、政策トライアル枠予算の活用により事業化した事業数についても、前年度と同程度となっており、政策トライアル予算の政策効果が発揮できている。						部局長の権限において、新しい施策にいち早くチャレンジし、その成果を踏まえて、次年度以降の事業を立案できる環境を整えるため、引き続き、トライアル予算を継続して実施する。			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

地域の景観対応枠予算

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	総務部	課名	財政課		課長名	川上 進太			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度			
事業実施方法	直営														
補助率	—														
福井県長期ビジョン における位置付け		分野 [5 ともに進める(総合力)] 政策 [17 「チームふくい」の行政運営]			関連する県の計画等		[行財政改革アクションプラン2024]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
公共施設等を適切に維持管理するとともに、徹底現場主義の観点から地域の実情に応じて迅速に対応を行う必要がある。						—									
[事業目的]															
道路や河川などへの維持管理(小規模な緊急対応)について、「地域の景観対応枠」を創設し、地域の声に対して迅速に対応する。															
[事業内容]															
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の声を受けて、速やかに対応すべき事案(排水溝修繕や街路樹剪定等の比較的小さな事案)を対象とする。 ・全ての出先期間を対象とする。 															
[受益者] 県民						[想定される受益者数] 約75万人									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名				<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担)	事業名								
市町との連携状況	—				他県の状況		—								

地域の景観対応枠予算

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	総務部	課名	財政課	課長名	川上 進太		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R6 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R10 年度
事業実施方法	直営												
補助率	—												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	300,000				300,000								
[予算額の推移等] (単位:千円)													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	令和7年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					300,000	300,000	—						
2月現計予算額の推移					300,000								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由		—											
[成果指標等の推移]													
区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績								地域の声に応じた突発的な修繕対応等に関する枠予算であり、活動目標の設定にそぐわない。				
活動指標	地域の景観対応枠予算を 活用を反映した箇所数 (目標) 実績				63								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和7年度の変更点				事業評価					
令和6年度は地域の景観対応枠予算を活用して63箇所の修繕等を実施し、地域の声を受けて修繕すべき事案への速やかな対応に努めることができた。				地域の声に応じた突発的な修繕等に対応するため、引き続き、地域の景観対応枠予算を継続して実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			